

芸術文化学部日本文学科

教育の理念・目的

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本文学科は、以下の要件を満たす学生に対して「学士（日本文学）」を授与します。

- ・所定の期間在学し、学科の教育理念・目的に沿って設定した授業科目を履修して基準となる単位数（124単位）を修得した人
- ・テキストの精読や実地調査と関係資料の精査をもとに、自らの見解を明確に提示した卒業論文を提出し、その審査と口頭試問に合格した人（文芸創作もこれに準じる）
- ・豊かな人間性と高い倫理観をもち、本学科で身につけた、自ら問題を発見し解決する知恵と力をもって積極的に社会に貢献できる人

具体的には次の学修成果を達成した者に対して学士の学位を授与します。

（知識・技能）

DP1; 日本語学・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法を修得し、周辺領域の考え方や理論と関連付けながらそれらを活用することができる。

（思考力・判断力・表現力）

DP2; 自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、論理的に思考し、言語文化の探究と創造に取り組むことができる。

（主体性）

DP3; 豊かな人間性と幅広い視野をもち、高度な言語運用能力を発揮して他者と議論や対話を行うことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針に掲げる学修成果を達成できるように、日本文学科では以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しています。

1. 日本語学・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法を修得するために、1年次に概論や基礎演習等の必修科目を配置します。[DP1] [DP2]
2. 学修の拡充と深化をはかるために、日本語学・日本文学・中国文学・欧米文学に加え、周辺領域である、民俗学・伝承文学・文芸創作・国語教育学等を専門教育科目として、各年次に配置します。日本文学分野では、対象の全体像と大まかな流れを理解し、個別具体的な作品を主体的に読み込み、高度な専門的知識を身につけ研究への理解を深めることができるように、概論・文学史・講読・文学講義等の科目を体系的に配置し

ます。[DP1] [DP2]

3. 周辺領域の考え方や理論と関連付けながら学びを深めるために、専門教育科目に発展的に関連・連携する、学部特性を活かした学部共通科目、教養教育科目を各年次に配置します。[DP1] [DP2]
4. 自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、論理的に思考し、言語文化の探究と創造に取り組むために、2年次以降の選択科目として、議論や対話を重視した専門演習を配置します。[DP2] [DP3]
5. 言語文化の探究と創造の成果として、卒業論文・卒業制作を課します。[DP1] [DP2] [DP3]
6. 豊かな人間性と幅広い視野をもって、高度な言語運用能力を発揮し、他者と議論や対話を行うための、少人数双方向教育を実施します。[DP2] [DP3]

[] 内は関連する DP を示します。